

ご使用上の注意

施工される人への危害を未然に防止するためと、ご使用になる人や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、この説明書をよくお読み下さい。

⚠ 暖房器具などから発生する熱風、熱気が直接当たらないようにして下さい。
扉の反り、変色などの原因になります。

⊘ 粘着テープでポスターなどを貼らないで下さい。表面が傷む恐れがあります。

⊘ 製品に水、油、殺虫剤などが付着しないようにして下さい。
材質の特性により表面がふくれたり、染み、変色などが発生する恐れがあります。

⊘ 扉の開閉にあたっては、丁番側の隙間に手を置かないで下さい。
指を挟んでケガの恐れがあります。特にお子様にはご注意ください。

⚠ 丁番などの可動部には手を入れないで下さい。挟まれてケガをする恐れがあります。
特にお子様にはご注意ください。

⚠ 衝撃は確実に奥まで差し込んで下さい。差し込みが不十分な場合、棚板及び収納物が落下する恐れがあります。

⊘ 安全のため、破損・変形した扉や棚板などは、使用しないで下さい。

■ 施工上の注意
⚠ 建具の下地材には、必ず乾燥剤（含水率19%以下）を使用し、湿潤材（クリーン材）は使用しないで下さい。壁内の通気が悪く、内部結露が発生する恐れがある場合は、防水処理をしてから施工して下さい。

⊘ 組立て後、ねじれ・引っ張りなど無理な力を加えないで下さい。破損の原因になります。

⊘ 施工時、ユニットやカウンターに足をかけたり載ったりしないで下さい。
破損・転落をしてけがをする恐れがあります。

⊘ 養生シートをかぶせる場合は、粘着テープ等を化粧面に貼らないで下さい。はがす際に正面が破損する恐れがあります。

⊘ 発熱燈付近には取り付けしないで下さい。熱により、部品が変形する恐れがあります。

- 点検・お手入れについて
1. 日常のお手入れは乾いた柔らかい布または化学雑巾で空拭きして下さい。
ひどい汚れまたは落ちにくい汚れは中性洗剤を薄めて固く絞った雑巾で拭き取して下さい。
汚れがひどい場合でも酸性・アルカリ性の洗剤、溶剤（シンナー・ベンジン）などは絶対に使用しないで下さい。
 2. 虫害を発見された場合は、直ちに殺虫や防虫処理をして下さい。外部から入ったことも考えられますので放置すると虫害が拡大する恐れがあります。
 3. 本体に抗菌剤、消臭・芳香剤などが付着した場合、表面が変色する恐れがありますので、すぐに柔らかい布で拭き取して下さい。（材質：MDF）
 4. 使用中に異常を感じられたり不具合が生じたときは、取付部分などの状況を確認してください。
ご自身で対処できない場合には、施工業者様にご連絡またはご相談して下さい。

マークの見方

⚠	この表示の欄は「本書を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害、損害の程度です。」
⊘	この表示の欄は「してはいけない禁止」内容です。
⚠	この表示の欄は「必ず実施して頂く」指示内容です。

お客様へのお願い

弊社では、お施主様が製品を安全に正しくご使用頂くための
お願い事項やお手入れ方法などの重要な内容をこの施工説明
書に記載しております。
施工後は、必ずお施主様に手渡して頂きます様をお願いします。

はじめに

※荷物が到着いたしましたら、直ちにキズの有無を確認してください。運送中に発生したキズ等がございましたら、運送業者から事故証明をとり、商品に添えて仕入先へ申し出ください。

※製造上の問題があれば、施工前に仕入先へ申し出ください。

《施工後は当社では責任を負いかねます。》

部品表（組立前に必ずご確認ください。）

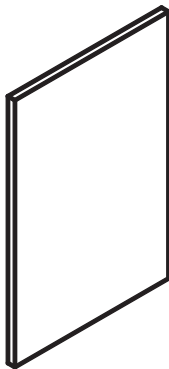
扉						
No.	品 名	H450タイプ	H600タイプ	H900タイプ	H1,200タイプ	H1,800タイプ
①	扉	1	1	1	1	1
②	扉(ガラスタイプ)	1	1	1		

別梱包

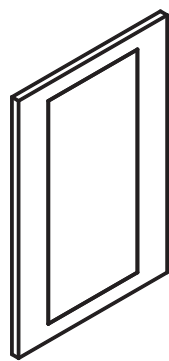
Ⓐ	スライド丁番2セット プッシュラッチ付き
Ⓑ	スライド丁番4セット プッシュラッチ付き

※H450・H600・H900タイプはⒶ、H1800 Ⓒを使用してください。
扉1枚に対して1セット別途注文が必要です。

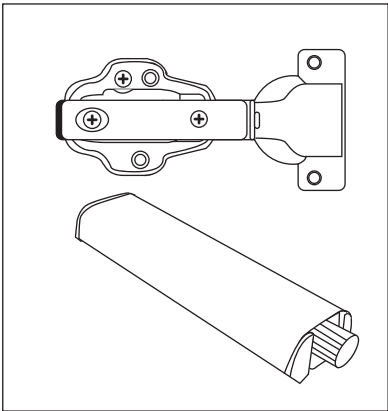
①



②

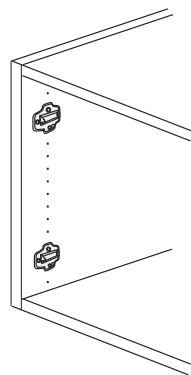


Ⓐ Ⓑ

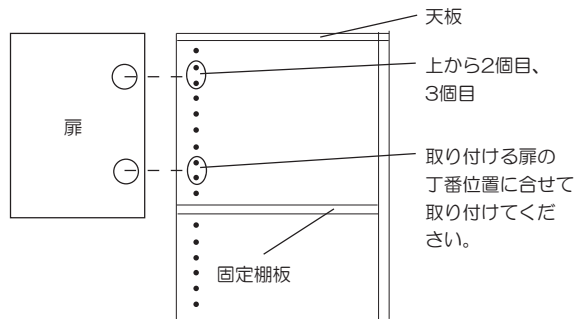


開き扉施工手順

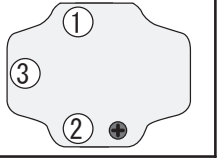
1 丁番台座を側板に取り付けてください。



◆取り付け位置について

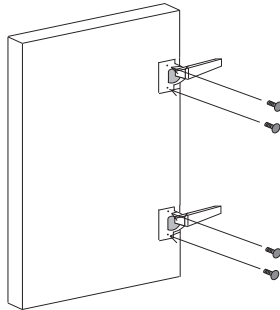


ネジ締め順番



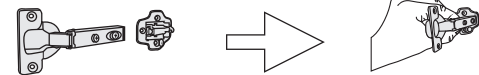
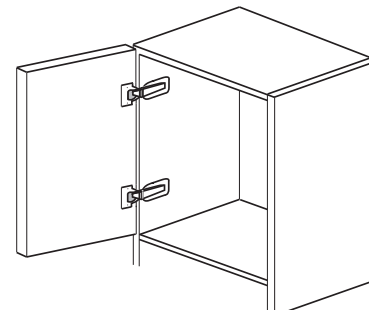
扉側 ← 背板側
※向きにご注意ください。

2 扉に丁番を取り付けてください。

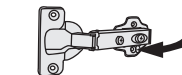


3 扉をキャビネットに 取り付けてください。

※丁番調整方法は裏ページに記載しております。



前か後ろの丁番のピンを丁番台座の溝に入れる。



「カチッ」と鳴るまで押さえる。

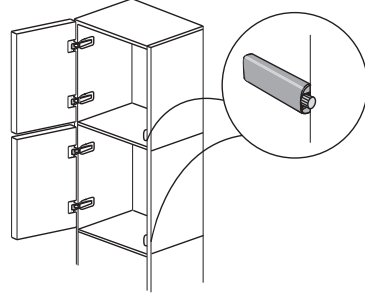
○プッシュラッチの取り付け

1 扉の上下どちらかに取り付ける(任意)

※片開き両開きの場合で取り付け箇所が違います。

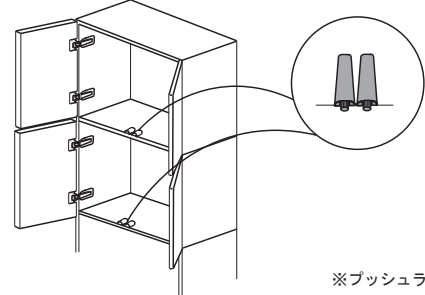
片開きの場合

側板のシステム穴に 取り付け。



両開きの場合

天板または地板・固定棚板の穴に 取り付け。

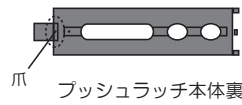
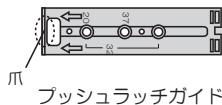


※プッシュラッチ調整方法は裏ページに記載しております。

2 扉に取り付け

プッシュラッチの取り付け方

取り付けたガイドの手前側の爪にラッチ本体の爪を引っ掛けて「カチッ」とおとがするまで押してください。

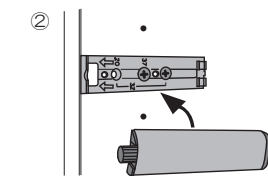
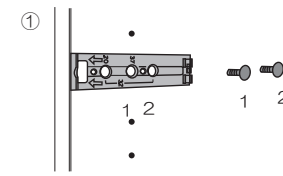


○片開きの場合

下部上部同様

①ガイドの真ん中の穴を始めてビスで固定した後、2の穴をビスで固定する。

②プッシュラッチ本体をガイドに取り付ける。



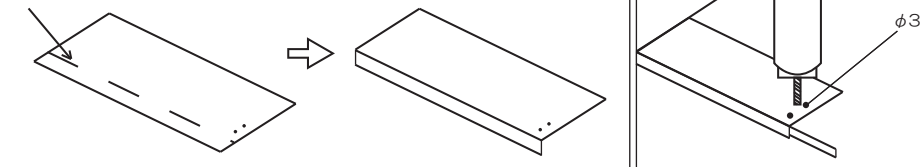
※1のビスはダボ穴に固定してください。

- 両開きの場合
下部上部同様
- ①付属のテンプレートで下穴をあける。
 - ②ガイドの左右の穴にビスで固定する。
 - ③プッシュラッチ本体をガイドに取り付ける。

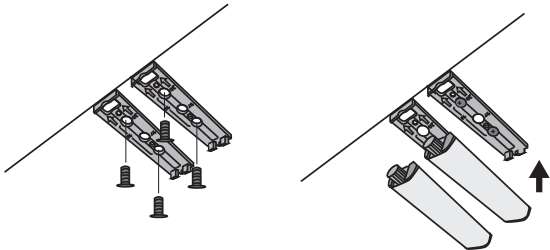
※注意

ガラスタイプの扉で耐震ロックを取り付ける場合、取り付け位置によっては、耐震ロックが取り付けできないため、一度取り付け位置を確認し、耐震ロック、プッシュラッチを取り付けてください。

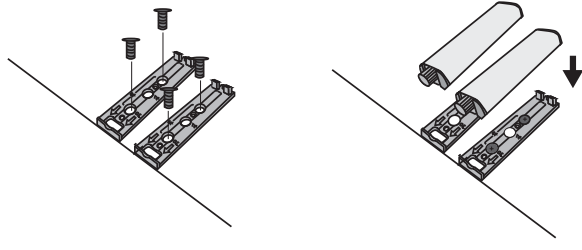
折り曲げる



○上部に取り付ける場合



○下部に取り付ける場合

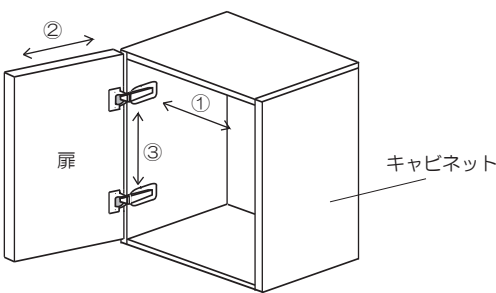
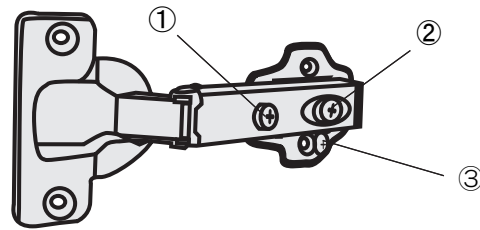


◆部材の調整方法

◆スライド丁番の調整

スライド丁番は3方向に位置を調整することが可能です。

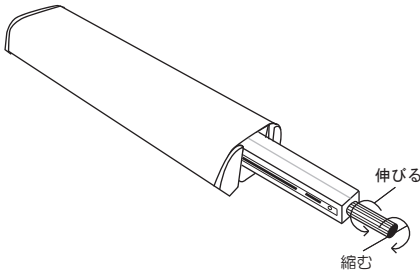
扉の動き



- ①左右に回して調整出来ます。
- ②③ビスを緩めて位置を調整し、緩めたビスを締めます。

◆プッシュラッチの調整

プッシュラッチがうまく作動しない場合、下記のような調整が必要になります。



スキ間がなく納まっていると
プッシュラッチは反応しません。

キャビネット

扉



キャビネットと扉に適切な
クリアランスを設定してください。

キャビネット

扉